



january  
2026

1



謹  
賀  
新  
年



クローズアップ  
**Closeup**

- ① 年頭のご挨拶
- ② こしみず実りの感謝祭  
& フォトコンテスト結果発表

# 年頭のご挨拶

小清水町農業協同組合  
代表理事組合長

安田 和弘



新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様、地域の皆様、並びにご家族の皆様、健康やかで朗らかな新年を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素よりJAこしみず事業への御理解と御協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、トランプ大統領の2期目の政権が始まり「アメリカ第一主義」に基づく相互関税政策によってすべての国から一律の関税を課し、特に米中関係は悪化。今も世界に大きな影響を及ぼしています。ウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ紛争が長期化し続いている中、新たにイランとイスラエルの軍事衝突が発生。紛争、貧困、気候変動、資源問題など様々な国際問題が絡み合い混沌とした世界情勢が今も続いています。日本では少数与党に転落した石破政権が7月の参議院選挙に挑みましたが、与党が過半数割れの敗北を喫し、これが事実上の退陣表明につながり石破総理辞任となりました。新総裁となった高市氏でしたが、公明党が連立離脱。新たに自維連立政権が合意され、10月の臨時国会で高市内閣総理大臣が選出され高市内閣が誕生しました。安部元総理の理念継承により日米同盟を軸に経済安全保障と防衛力強化を推進していますが、台湾有事問題により中国との関係が悪化し日本経済に影響がでないか心配であります。

また日本の食料自給率100%を掲げている総理ですが、ミニマムアクセス枠外の関税の大幅引き下げやJAからの金融部門の分離を促す規制改革を求めている維新との農業農村政策の折り合いが問われるところです。

政府は前年からの米騒動により備蓄米を放出、農林水産省が米の需給見通しの誤りについて異例の謝罪を行いました。基本法が改正され食料安全保障の確保を基本理念に、農業政策の方向性を決定する上で極めて重要な基本計画を策定しましたが農水大臣が1年に3人と変わり「猫の目農政」と言われるなど、農業者や消費者にとつて不安を残す年となりました。

JAの運営としては、第77回通常総代会を皆様からご承認頂き、第11次中期振興計画の3年目を実践して参りました。3月には臨時総代会を開催させて頂き、麦乾大豆の将来ビジョンとして新基本計画実装・農業構造転換支援事業「穀類乾燥調製貯蔵施設増設工事」のご承認を頂き工事を進めているところであり、今春に完成する予定です。将来の新品種対応を含め、麦大豆の省人力化及び効率化に向けて進めて参りたいと思います。令和6年にJA部署横断的に設立したPR teamでは、小清水中学生との共同開発した小清水産春よ恋100%使用の『こしみずラーメン』、そして吉本興業様とコラボし、小清水町産じゃ

がいも「メーカーイン・北旺・男爵」使用の『よしもとカレー』を発売、好評を得ています。大変美味しく仕上がっていますので是非とも小清水町農産物の宣伝として活用して頂ければ幸いです。

また、昨年は初めて町民の方も参加できるビアパーティーをアグリハートセンターで開催し、沢山の方々にご来場いただきました。組合員、町民との新しい交流の場として続けて参ります。12月には愛ホールに会場を移して開催した『こしみず実りの感謝祭』では、JA帯広大正様との合同出店の焼きそばや、マロニー株式会社様と女性部との協賛によるマロニー入り豚汁など好評で、どこのブースも大盛況に終えることが出来ました。

昨年の作況においては、4月下旬にまとまった雨や降雪があり蒔きつけ作業に影響が出るスタートでしたが、そのあとは天候に恵まれ遅れを取り戻し作物も順調に生育しました。しかし6・7月になると高温の日が続きまとまった雨も降らず、早魃・猛暑による災害の年となりました。小麦は過去最速の7月21日から受入れを行い7月中旬に受入れを終えることが出来ましたが、細麦傾向となり製品率・収量とも前年に満たない結果となりました。馬鈴薯は小玉傾向となりライマン価も専用品種に

## 謹賀新年 JAこしみず 小清水町農業協同組合

代表理事組合長		専務理事		理事		代表監事		次席監事		常勤監事		参事	
安田 和弘		牧野 昭紀		鎌田 保宏 佐々木 正俊 吉田 伸明 山中 康裕 相内 隆男 伊藤 修司 立花 和也		高橋 隆仁		山田 英明		眞柳 正嗣		渡部 徳智 他職員一同	

おいて18.8%、澱粉工場総体の澱粉製造は19,738t、全道的にも13万tの生産となりました。また、澱粉原料用の種子馬鈴薯が不足していることにつきましては、あらゆる可能性を駆使して次年度に向け不足とならぬよう取り組んで参りますので組合員の皆様の御協力を御願ひ致します。甜菜は今年も褐斑病の対策をしておりましたが、暑さの影響により新たな害虫（シロイチモジヨトウ）が発生し管理に苦労した年となりました。また基準糖分にはほど遠く15.5%前後を見込んでいるところです。一方、豆類には大変良い気候の年となり、特に大豆は収穫も9月下旬から始まりましたが収穫量も過去最高の概算製品の収量となりました。青果も品質・収穫量に影響が出たものの、一定程度は価格に助けられる形となりました。肉畜においては、消費は価格上昇などで伸び悩んでいるところですが和牛など頭数減少や小売り需要で価格も回復している状況です。酪農においても、暑さにより飼料作物の品質成分や乳量乳質・分挽に影響がある年でしたが、乳価上昇や個体販売の価格も戻り回復の兆しが見えてきた一方、依然として生産費高騰は変わらない状況であります。

営農全般的には令和5年に近い収支状況であり、特に猛暑による作物への影響として、小麦の製品率と品代低下、澱原馬鈴薯の生産量、各農薬の使用量が大きいと判断し昨年も前年同様農薬の期中割り戻しをさせていただきました。

農政につきましては、食料農業農村基本計画が4月に閣議決定、北海道は「主要穀物などの主産地」として明確に位置づけられ、日本の食料基地としての役割がより強調されることとなりました。

農業者の責務として食料安全保障に繋がるよう取り組んでいかなければなりません。また、昨年の参議院選挙では令和6年より北海道から農民代表を国政に送るべきと運動を展開し、J A道北なよろの会長である「東野ひでき」氏を擁立し全国の農業者代表として約188,000票を集め見事当選致しました。組合員の皆様をはじめ、役員、関係機関各位の農業に対する思いの結晶であり、日本の農業を変える力となりました。東野代議士においては各委員会や農林部会、管内の各キャラバンなどに委員として我々現場の様々な課題に力強く発言しご活躍頂いておりますので、引き続き皆様方からの応援の程宜しく御願ひ致します。

本年は畑作物の直接支払交付金単価改定の年であり現行の算出方式では大豆以外大幅に下がる見込みであったことからこの3年間の経営状況や気候変動など含め直近の生産費高騰を反映するようJ Aグループ北海道として農水省と折衝してまいりました。これまでの要請活動により平成19年の施行以降、18年間で初めて方針を転換し直近の生産費等の推計値を用いて単価を算定し、糖度及びライマン価の基準値を見直すこととなりました。これにより従来の計算式から大幅に見直されましたが令和4年までのような経営状況にはまだ遠い状況であります。昨今の気候変動並びに、物価高などの情勢が変わらない中、我々自身が生活も含めて見直さなければならぬ時がきています。出来ないことは引き続き政治に御願ひしますが、まだ努力してできることがあれば自ら行わなければなりません。我々農業者は経営者であります。そのためには一人ではなく、今一度協同組合の精神に

立ち返り、「相互扶助」すなわち互いに助け合う心で共通の課題・問題に取り組み、不平等とならぬよう進めなければなりません。その協議を重ねた結果が営農と生活を守ることとなります。皆様方の協同組合の結集が必然です。

今年の干支は「午」ですが、力強く前進する姿から、「活力、躍動感、成功」の象徴と言われ、物事がうまくいくという語呂合わせもあるようです。本年も皆様と心と力を合わせ努力が実を結び成功となるように役職員一同一丸となり取り組んでまいります。

令和8年が組合員の皆様にとって希望に満ちた一年となりますよう、皆様方の御家族の御健康と豊穡の出来秋となることを御祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



賀 正

小清水町農協女性部

部 長	高橋 房子	副 部 長	佐々木裕子	書 記	佐伯 由紀	監 事	竹内千奈美	フレッシュミズ	会 長	村上亜莉沙	副 部 長	鈴木 郁恵	書 記	佐伯 蛍	会 計	千葉 美里
-----	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-------	---------	-----	-------	-------	-------	-----	------	-----	-------

賀 正

小清水町農協青年部

部 長	斉藤 貴士	副 部 長	竹内 友輝	会 計	津野 隆太	農政部会理事	藤井 隆博	食育農産部会理事	氣田 基	イベント企画部会理事	栃本 大地	監 事	千葉 英介	眞田 政俊
-----	-------	-------	-------	-----	-------	--------	-------	----------	------	------------	-------	-----	-------	-------



# 令和 8 年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会 長 樽 井 功



新年あけましておめでとう  
ございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が、一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりますが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際競争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を、持つて営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギー

と行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

網走農業改良普及センター清里支所

支 所 長 荒 井 邦 浩



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝にて希望に満ちた2026年の新春を、ご家族とともに迎えになりましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、皆様には日頃より普及センターの活動に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年の気象と農作物の作況を振り返りますと、生育期間を通じて記録的な高温と乾燥の傾向となりました。

融雪期は平年より8日遅く、4月末には降雪もあり、耕起作業も6日遅れました。

秋まき小麦は、起生期が8日遅れたものの、出穂期は平年並みに回復し、成熟期は平年より7日早まりました。登熟期間が平年より8日短く、収量は平年をやや下回りました。春まき小麦は、は種期が7日遅れましたが、出穂期は平年並みに戻り、収穫期は9日早まりました。生育期間や登熟期間が短くなり、収量は平年を下回りました。馬鈴しよは植付作業がやや遅れましたが、開花期以降は概ね

平年並みの生育ステージを示しました。病害虫の大きな被害はなかったものの、高温乾燥の影響により1個重が減少し、収量低下につながりました。

てん菜は移植作業が3日遅れましたが、その後の高温により根部肥大は順調に進みました。しかしシロイチモジヨトウの発生や褐斑病の影響により、糖分がやや低下しました。

豆類は大豆・小豆ともに平年並みに出芽し、その後順調に生育しました。大豆の開花期は平年より12日、小豆は8日早くなり、収穫も順調に進んで、大豆は14日、小豆は5日早い収穫期となりました。大豆の収量は平年を上回り、近年は増収傾向が続いております。

飼料用とうもろこしは、播種作業が平年並みに進み、雄穂・絹糸抽出期が9日、黄熟期が17日早まりました。牧草の収穫作業は概ね平年並みでしたが、特に2番草は高温乾燥の影響で収量が平年を下回りました。

このように、豆類を除き多くの作物で高温乾燥による影響が大きい一年となりました。その厳しい気象条件のなか、

皆様におかれましては、作物の生育に合わせたきめ細やかな栽培管理にご尽力いただいたことと存じます。高温、乾燥や豪雨などの異常気象に對応できるよう、普段から取り組みられている土づくりや輪作体系の確立、基本的な栽培管理技術を生かしていただきたいと思ひます。まさに「温故知新」の精神が求められるところです。

普及センターといたしまして、地域の諸課題に對し、皆様とともに町やJAなどの関係機関との連携をさらに強化し、活動を推進してまいります。

職員一同、皆様の農業経営の向上および地域農業（農村経営）の振興に、微力ながら力添えできればと考えております。

皆様にとりまして、本年が輝かしく豊かな一年となりますこと、そして皆様のご多幸と益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶

ホクレン斜里原料所

所 長 東松 隆二



令和8年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日頃より、組合員の皆様をはじめ、農協および関係機関の皆様には、てん菜振興へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年産のてん菜の直播播種は4月23日、移植定植は4月13日に開始し、最盛期は直播が5月4日、移植定植が5月7日でした。4月29日の降雪の影響もあり、播種定植作業は遅れましたが、その後は天候に恵まれ、初期生育は良好でした。平均気温が6月中旬から9月まで平年より高く推移し、連作圃場を中心に褐斑病の発生が見られ、2年続けての褐斑病多発が懸念されましたが、生産者の皆様による早期防除の徹底、残効を切らさない防除間隔・回数管理等により、被害を最小限に抑制することができました。また、8月下旬には薬剤耐性のあるシロイチモジヨトウが確認されましたが、適切な防除で被害を最小限にとどめることができました。9月には収量は平年より低い75・9t/ha、糖分は猛暑の影響で15・1%を見込んでおりまし

たが、収量約77t/ha、糖分15・5%と計画を上回る実績となりました。これは、組合員の皆様による適切な肥培管理と懸命な薬剤防除の成果であり、深く敬意を表します。

てん菜の輸送につきましては、てん菜対策委員会ですたなルールを設定し、出荷希望調査やストックポイント確認、集荷申込書の取りまとめを実施しました。10月11日から輸送開始し、生産量増により中間輸送は計画より1日遅い11月17日に終了しましたが、大きな事故もなく無事終えることができました。輸送期間につきましてはご迷惑をお掛けしたこともありましたが、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

てん菜を取り巻く情勢は、農業資材の価格高騰や防除回数増加による農薬費の負担増など、農業経営にとって厳しい状況が続いています。令和8年産から直接支払交付金(ゲタ対策)が見直され、基準糖度が16・6%から15・7%へ0・9%引き下げられ、実質的な交付額増が見込まれることとなりました。てん菜は地力維持に不可欠な輪作体

系の一翼を担っています。生産基盤の維持と生産性確保には、生産者・関係機関・製糖工場が一体となった取り組みが重要です。引き続き組合員や農協の皆様のご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸、本年の豊作を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





2025

小清水町の年に一度のグルメ祭り

## こしみず実りの感謝祭

12月6日（土） | 愛ホール屋内・屋外にて開催



マロニー様&JAこしみず女性部  
マロニーちゃんが入ったコラボ豚汁提供



JAこしみず 安田組合長挨拶

JAこしみず女性部 高橋女性部長の開会宣言により感謝祭スタート



12月6日（土）に愛ホールで開催された「こしみず実りの感謝祭2025」は、多くの来場者でにぎわい、大盛況のうちに終了しました。

屋外会場にはJAにしょうのみかんや小清水和牛、小清水町産じゃがいも・玉ねぎ・長芋・ごぼうなどの農産物に加え、加工品など小清水町の特産品販売も行われ、買い物を楽しむ方々で活気にあふれました。JA酪農部会による牛乳無料配布、JA青年部の食育コーナー、こしみずうどん販売、JA女性部による小清水町の郷土料理・でんぶん団子の販売、ゆう水サークルによるゆう水味噌の販売、JA役員による焼きいも販売など各ブース出展は毎年大好評で、今年も多くの来場者に喜ばれました。多くのキッチンカー（14台）も並び、フライドポテトやクレープ、アサイーボウルなど多彩なグルメが提供されました。

今年はマロニー株式会社が応援に来てくださり、女性部と協力した「マロニーちゃん入り特製豚汁」をふるまいました。寒い季節にうれしい温かい一杯は行列ができる人気ぶりでした。さらにJA帯広大正も応援参加し、小清水町産小麦と大正メークインパウダーを使ったコラボ焼きそばを販売。両JAの魅力が詰まった特別メニューは注目を集め、早々に完売となりました。

屋内会場ではフレッシュミズが小清水町産の野菜で装飾したベジツリーが展示され、ハンドメイドサークルによる手作り雑貨の販売も行われました。JAこしみず公式キャラクター「こむぎん」も登場し、子供たちとの記念撮影で温かい空気が広がりました。JA共済課では運動あそびコーナーとして輪投げや塗り絵を実施し、たくさんの子供たちが参加しておりました。ステージではラスベガス級の迫力と話題を集めたアッキーさんによる迫力あるイリュージョンマジックショーが行われ、会場全体が大きな歓声に包まれました。

ご来場いただいた多くの皆さま、そして運営にご協力いただいた関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。JAこしみずはこれからも魅力あるまちづくりに取り組んで参ります。





# こしみず実りの感謝祭2025 フォトコンテスト結果発表



## ▲女性部賞

「ビート畑でかくれんぼ」

撮影：藤川麗奈

小清水の農業や農村風景をテーマに、本年も農村フォトコンテストを実施しました。小清水町農業に関する素敵な写真や作物の面白い写真など様々な作品をご応募頂きました！今回は3つの賞を設け、実行委員の青年部・女性部・フレッシュミズが1作品ずつ厳選しました。受賞された皆様おめでとうございます！



## ▲青年部賞

「突然雪原に現れた、  
自然現象(雪まくり)」

撮影：久保宏道



## ◀フレッシュミズ賞

「ダイヤモンドポテト」

撮影：本田敬子

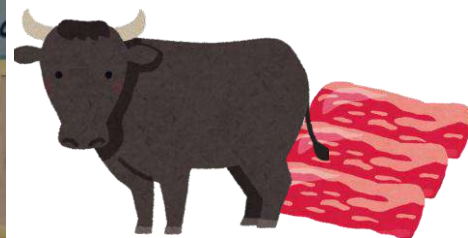


# フォトコンテスト応募作品 沢山のご応募ありがとうございました。





# ◆学校給食に小清水和牛を提供◆



令和7年12月2日(火)小清水町肉牛振興部会より町内の小・中学校の給食に、「小清水和牛」を無償提供していただきました。この取り組みは「小清水町に美味しい和牛があることを知ってもらおう」と令和2年から継続して行われています。昨年大好評だったことから、今年も給食の特別メニューは「スペシャル牛丼」となりました。校舎内には、小清水和牛を使った牛丼の香ばしい匂いが広がり、給食センターの澤田栄養士は「高級な小清水和牛なので、緊張しながら調理しています」と話してくださいました。また、給食センターでは当日の調理工程を撮影し、給食の時間に掲示することで、子どもたちに地元食材を味わえる貴重さを伝える工夫もされていました。子どもたちは「美味しい!」「たまりません〜!」「牛丼サイコー!」と笑顔いっぱい喜んでいました。

今回の和牛提供にご尽力いただいた小清水町肉牛振興部会の皆さま、そして小清水町給食センターの皆さま、本当にありがとうございました。なお、12月17日には認定こども園の子供達にも和牛の提供をしていただいております。

## 役員会議室



### 第11回 理事会11月27日(木)

#### ◆報告事項

- 1) 営農担当委員会 (11/26) の開催結果
- 2) 販売担当委員会 (11/26) の開催結果
- 3) 経済担当委員会 (11/27) の開催結果
- 4) 管理金融担当委員会 (11/27) の開催結果
- 5) 第1回種子対策委員会(11/26)の開催結果
- 6) 令和7年産種子馬鈴しょの状況
- 7) 令和7事業年度決算見込み
- 8) 理事に対する資金の貸付報告
- 9) 令和7年10月末現在の組合員加入及び脱退の状況
- 10) マネーロンダリング等の防止にかかる対応状況の報告
- 11) 令和7年度第2回定例業務監査結果

#### ◆協議事項

- 1) 令和8農薬年度早取農薬推進取扱要領

#### ◆議案

- 1) 固定資産(土地)の賃貸
- 2) 規程改正に伴う関連規定(字句)の改正
- 3) 第3四半期における余裕金運用計画の見直し

### 第12回 理事会12月17日(水)

#### ◆報告事項

- 1) 令和7年度第3回てん菜対策委員会(12/11)の開催結果
- 2) 令和7年度第3回豆類対策委員会(12/12)の開催結果
- 3) 令和7年産豆類の受入結果及び大豆仮渡金
- 4) 令和5年産瀬原馬鈴しょ本精算
- 5) 令和6年産瀬原馬鈴しょ概算金
- 6) 令和7年産瀬原馬鈴しょ数量払いの仮渡金
- 7) 令和7年産玉葱概算金
- 8) 令和7年産生食馬鈴しょ概算金
- 9) 令和7年産長芋概算金
- 10) 令和7年産薬用作物(オウギ)概算金

#### ◆議案

- 1) 規格外小麦の保管料設定
- 2) 令和7年産期中特別対策(案)
- 3) 人事労務基本方針(案)の設定
- 4) コンプライアンスマニュアルの改正
- 5) 特別調査委員会等設置要領の制定
- 6) 生乳受託販売規程の改正
- 7) 経営相談組合員・準経営相談組合員対象基準要領の廃止
- 8) 営農活動指導基準要領の設定
- 9) 役員報酬審議会委員の選任
- 10) 役員報酬審議会委員への理事会諮問(案)
- 11) 出資持分の譲渡



# JAこしみず×吉本興業×いずみピクルス コラボ新商品販売開始！ 『よしもとピクルス 北海道小清水町のグリル野菜ミックスマリネ』

## 新商品コンセプト

JAこしみず・吉本興業・「いずみピクルス」がコラボレーションし共創した新商品が発売いたします。  
コンセプトは「地域と笑顔に～おいしいものをおいしくお届け」。合成着色料・保存料無添加にこだわり、小清水町産野菜のおいしさを「見た目にも美しく、食べておいしく、身体にやさしい」加工品として全国へ発信していきます。

## 新商品の概要

北海道小清水町産の5種類の野菜(人参・ごぼう・かぼちゃ・ブロッコリー・玉ねぎ)を使用。北海道小清水町の豊かな大地で育った新鮮な野菜をふんだんに使った、ピクルスが誕生しました。オホーツク海気候特有の寒暖差と澄んだ空気、肥沃な土壌に育まれ、旨みと品質が確かな小清水町の青果物。その品質の良さと美味しさを、ぎゅっと瓶に閉じ込めました。

## ピクルス販売先一覧

### 【販売場所】

小清水農業振興公社【アグリハートセンター】/道の駅葉菜野花小清水店  
SONCAFE(大阪府泉佐野市)/よしもとエンタメショップ新宿店(ルミネtheよしもと内)  
難波店(なんばグランド花月ビル内)

### 【ECサイト】

いずみピクルス(<https://shop-idsumi.com/>)/ Cheeky'sstore (<https://onl.tw/Ty4t17c>)



## JAへの就職希望者100%就職内定

(令和7年度実績)

## 令和8年度入学生第3回募集

- ・定員40名・男女共学・1カ年・寮完備(個室)/通学も可
- ・受験資格:満27歳未満(令和7年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- ・試験日:令和8年2月15日(日)
- ・願書受付:令和8年1月6日(火)～1月23日(金)消印有効
- ・オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校



一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417

【JAカレッジ】で検索





食卓を彩るとっておきレシピ！

日本女子大学非常勤講師、十文字学  
園女子大学非常勤講師、日本フード  
コーディネーター協会常任理事

赤堀料理学園校長 赤堀博美氏 監修  
『梅花卵(ばいかたまご)』



— 材 料(6人分) —

卵 ..... 7 個

(卵黄用)

砂糖 ..... 大さじ5

塩 ..... 小さじ1/4

(卵白用)

砂糖 ..... 大さじ3

塩 ..... 小さじ1/4

食紅 ..... 少々

作り方

- ①鍋に卵と水(材料外)を入れて中火にかけ、沸騰したら弱火にしてさらに12分ほどゆでて水にあげる。
- ②ゆで卵を卵黄と卵白に分け、卵黄は砂糖と塩を混ぜてから目の細かい裏ごし器などで裏ごす。卵白は裏ごししてから砂糖と塩を混ぜて、半分に分ける。半量には少量の水(材料外)で溶いた食紅で色を付ける。
- ③ぬれた布巾を広げ、その上に卵白が紅白になるように広げて約10cm×20cmの大きさのシート状にする。卵黄は直径5cmの俵形4本にまとめ、卵白の上に並べて巻きずしのように巻く。巻き終えたら布巾の両端を輪ゴムで留める。丸箸5本を回りに当てくぼませて梅の花の形に整え、両端と中央を輪ゴムで留める。
- ④③を蒸し器に入れて8分蒸す。蒸し上がったたら冷まして丸箸を取り、1cmの厚さに切る。

編 集 後 記

あけまして  
おめでとうございます

2026年は、十二支で「午(うま)年」にあたります。

午年は、元気に前へ進む力や行動力を表す干支で、物事が動き出しやすい一年といわれています。新しいことに挑戦したり、これまで準備してきたことを形にしたりするには、ぴったりの年です。

組合員の皆さまとの意見交換など今まで以上に行い、2026年も良い出来秋に向けて、共に明るく歩んでいきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

よろしく  
お願いします!



令和8年/平成38年  
昭和101年/大正115年



JA KOSHIMIZU

JAこしみず  
Instagram



JAこしみず  
ホームページ